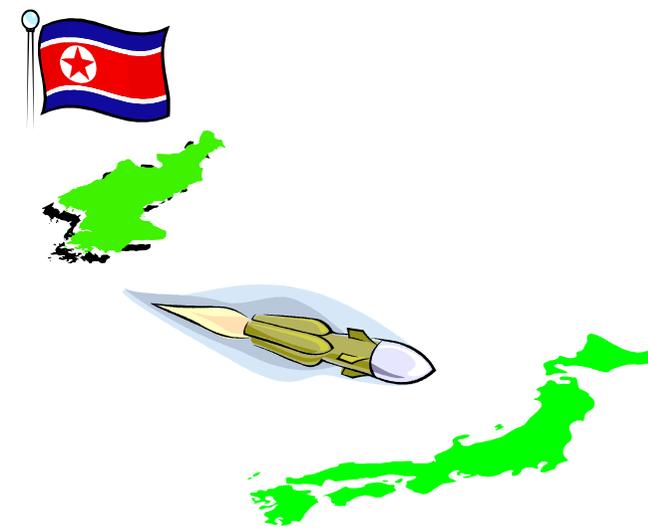


# 身近に迫る脅威

地下鉄サリン事件(1995)  
米国の炭疽菌事件(2001)  
スペイン列車爆破事件(2004)  
ロンドン地下鉄・バス爆破事件(2005)  
ムンバイ同時テロ (2008)  
モスクワ地下鉄連続テロ(2010)  
韓国・延坪島(ヨンピョンド)北朝鮮砲撃事件(2010)  
北朝鮮ミサイル発射(2006/2009/2012/2014/2016)  
シリア内戦における化学兵器使用 (2013)  
ISIK (イスラム国) によるテロ活動 (2014/2015)  
タイ爆弾テロ (2015)  
パリ同時多発テロ (2015)  
ブリュッセル連続テロ事件 (2016)



北朝鮮による  
ミサイル発射実験



- ✓ テロ活動は全世界で頻発！
- ✓ 大量破壊兵器などの使用が現実的に！
- ✓ 特に、生物・化学兵器は比較的安価で製造が容易！

## 調達活動及び流出の事例



「〇〇国は、我が国において先端技術保有企業、防衛関連企業、大学・研究機関等に研究者、技術者、留学生等を派遣し、先端技術に関する情報収集活動を行っており……」（『平成26年版警察白書』より）

### < 海外における流出の事例（未遂を含む） >

- ① A国T大学R教授は、無人航空機に関する技術情報をC国人に違法提供し、逮捕。
- ② A国I大学C国人留学生は、軍事用センサーを無許可でC国に輸出しようとして逮捕。
- ③ C国人L氏は、ミサイル等の誘導システムに関する技術情報を、勤務先のA国企業から盗み、C国の研究機関等にプレゼン。同氏は逮捕。
- ④ N国B企業は、C国企業から輸入したトレーラーをミサイルの発射台付き車両に改造。



### 【日本製品が懸念用途に使用された事例】

1. 日本製の三次元測定器がリビアの核開発関連施設で発見（2004）
2. 日本製の真空ポンプが北朝鮮の核関連施設で発見（2007）